

平成26年度 第2回千葉県図書館協議会配付資料一覧

- 1 次第
- 2 平成26年度千葉県立図書館の運営状況について（経過報告） 【資料1】
- 3 「第三次 千葉県子どもの読書活動推進計画」策定について 【資料2】
- 4 県立図書館が進める県民の課題解決に対する支援方法について 【資料3】

平成26年度第2回千葉県図書館協議会次第

日 時 平成26年12月16日(火)
午後2時から
場 所 千葉県立中央図書館 講堂

1 開 会

2 議長あいさつ

3 議 事

(1) 報告事項

報告1 平成26年度千葉県立図書館の運営状況について(経過報告)

報告2 その他

(2) 協議事項

協議1 県立図書館が進める県民の課題解決に対する支援方法について

協議2 その他

4 その他

5 閉 会

平成26年度千葉県立図書館運営状況(経過報告)

上段：平成26年9月30日現在

下段：平成25年9月30日現在

図書館事業概要

項目		館名				
		中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計	
資料整備	資料総数	受入冊数	3,835 冊	1,505 冊	2,838 冊	8,178 冊
		(内購入冊数)	4,304 冊	1,870 冊	2,709 冊	8,883 冊
			(2,429 冊)	(1,095 冊)	(2,363 冊)	(5,887 冊)
		購入費 (予算額)	(3,284 冊)	(1,437 冊)	(2,429 冊)	(7,150 冊)
	24,400 千円		16,200 千円	22,230 千円	62,830 千円	
	蔵書数	27,500 千円	18,000 千円	24,700 千円	70,200 千円	
		蔵書数	856,304 冊	262,630 冊	263,447 冊	1,382,381 冊
		新聞・雑誌・法規集	851,069 冊	259,501 冊	256,049 冊	1,366,619 冊
			78紙・3,705誌・34種	37紙・527誌・0種	24紙・255誌・1種	139紙・4,487誌・35種
			78紙・3,680誌・34種	47紙・538誌・0種	25紙・307誌・1種	150紙・4,525誌・35種
サービス業務	利用状況	入館者数	56,738 人	106,455 人	86,894 人	250,087 人
		有効登録者数	53,788 人	111,589 人	97,852 人	263,229 人
			16,550 人	19,965 人	10,833 人	47,348 人
		個人貸出	16,765 人	20,998 人	11,202 人	48,965 人
	32,501 冊		32,517 冊	23,869 冊	88,887 冊	
	資料複製サービス	33,883 冊	31,101 冊	26,115 冊	91,099 冊	
		69,394 枚	28,769 枚	4,760 枚	102,923 枚	
	参考調査 照会・質問	68,124 枚	36,791 枚	4,549 枚	109,464 枚	
9,889 件		4,110 件	3,993 件	17,992 件		
協力業務	県立図書館蔵書貸出冊数	5,879 件	4,406 件	3,294 件	13,579 件	
		19,782 冊	8,258 冊	19,293 冊	47,333 冊	
	市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数	19,039 冊	8,565 冊	19,277 冊	46,881 冊	
		23,544 冊	17,437 冊	7,573 冊	48,554 冊	
管内人口(平成26年4月1日)		6,188,661 人				

備考 蔵書数にはマイクロ資料、視聴覚資料を含む。

【業務内容】

1 資料の収集

(1) 県立全館の資料整備 資料整備実績

(平成26年9月30日現在)

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
資料受入冊数	3,835 冊	1,505 冊	2,838 冊	8,178 冊
(うち購入冊数)	(2,429 冊)	(1,095 冊)	(2,363 冊)	(5,887 冊)
(うち寄贈冊数)	(1,406 冊)	(410 冊)	(475 冊)	(2,291 冊)
千葉県関係資料 (購入・寄贈の内数)	829 冊 (142冊・687冊)	231 冊 (16冊・215冊)	161 冊 (32冊・129冊)	1,221 冊 (190冊・1,031冊)
逐次刊行物(購入)	155 タイトル	313 タイトル	199 タイトル	667 タイトル

(2) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館除籍資料等を収集した。

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
図 書	0 冊	0 冊	170 冊	170 冊
雑 誌	5 冊	136 冊	0 冊	141 冊

2 利用者サービス業務

(1) 調査相談業務 (レファレンスサービス)

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料だけでなく外部データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や県内図書館等からの調査・相談に応じた。

また、国立国会図書館レファレンス協同データベースへの調査回答事例の提供や、千葉県歴史関係雑誌記事索引等の千葉県関係データベースの作成並びにパスファインダーの作成により調査支援ツールの充実に努めた。

中央図書館では、前年度設置した「くらしに役立つ法律・判例情報コーナー」に法律・判例関係資料の充実、関連情報の提供に努めるとともに、県民向けの課題解決支援講座「くらしに役立つ法律・判例情報講座(2回)」を開催した。

西部図書館では、前年度設置した「医療・健康情報コーナー」において医療・健康関係資料の充実、関連情報の提供に努めるとともに、県民向けの課題解決支援講座「健康・医療情報講座」を開催する予定である。

東部図書館では、平成23年度に開設した「シニア支援コーナー」を「はつらっライフなび」と名称を変え、シニアの暮らしに役立つ資料の充実、関連情報の提供に努めるとともに、県民向けの課題解決支援講座「はつらっライフ講座」を開催する予定である。

< 課題解決支援講座【3館】（一般向け） >

事業名	事業計画	実施状況
【中央図書館】 暮らしに役立つ法律・ 判例情報講座	全2回	6月1日（日）午前 参加者17人 「法律に親しむデータベース活用法」 6月1日（日）午後 参加者20人 「暮らしの中の消費者トラブル」 講師 千葉県弁護士会所属法テラス千葉法律事務所 スタッフ弁護士 相田敦史氏、國松里美氏
【中央図書館】 データベース活用講座	1回	11月20日（木） 参加者8人 「官報情報検索サービス」 講師 独立行政法人国立印刷局情報製品事業部 官報グループ 峯村理恵氏
【西部図書館】 困りごと解決支援講座 （ワンポイント図書館 活用講座を併催）	1回	11月29日（土） 参加者28人 「相続税が変わる！ ～『争』続とまらないために～」 講師 千葉県税理士会松戸支部 税理士 鷹野友亮氏
【西部図書館】 生涯現役実現セミナー	1回	12月5日（金） 予定 講師 一般社団法人中高年齢者雇用福祉協会 上級生涯設計コンサルタント
【西部図書館】 健康・医療情報講座 （ワンポイント図書館 活用講座を併催）	1回	2月14日（土） 予定 「健康づくり・栄養改善について」（仮題） 講師 千葉県松戸健康福祉センター 保健師
【東部図書館】 地域づくり支援講座	1回	10月18日（土） 参加者80人 「天保水滸伝でまちおこし！」 講師 東庄町産業振興係長 加瀬博子氏 東庄町観光ガイドの会会長 海上義治氏
【東部図書館】 はつらっライフ講座	1回	1月24日（土） 予定 「準備して安心！終活ー相続・遺言・エンディングノ ート」 講師 金融広報アドバイザー 齋藤喜代美氏

(2) 閲覧業務

【中央図書館】

昨年に引き続きNHK千葉放送局FM放送「ひるどき情報ちば」に職員が出演し、本の紹介をした。前年度3月に設置した、児童資料室前の「子育て支援情報コーナー」に、子育て中の保護者を対象にした実用書を集めるなど、関連情報の提供および充実に努めた。

千葉県に関する東日本大震災の記録等の収集等について、国立国会図書館との連携を開始した。

<平成26年度実施事業>

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
定例おはなし会	毎週土曜日 午後	26回実施 参加者延べ 172人 平均6.6人/回 語り手 当館職員他
図書館活用ミニ講座	毎週金曜日	4回実施 参加者5人
書庫見学会	第2金曜日 第4日曜日他	全5回 参加者延べ10人 平均2人/回
親子で楽しむえほんの会	6回 (隔月開催予定)	5月9日(金)、7月11日(金)、9月12日(金)、11月14日(金) 参加者延べ25人 平均6人/回 1月9日(金)、3月13日(金) 予定 語り手 当館職員他
子どもの本の読み聞かせ講座	全2回	神崎町 1月22日(木)、23日(金) 予定 講師 小谷孝子氏(ゆか下文庫・主宰) 予定
くらしに役立つ法律・判例情報講座	全2回	前掲(P3)
障害者のための読書支援機器活用講座	全2回	第1回 7月15日(火) 参加者4人 音声読書機器活用講座 講師 株式会社アメディア 宇土修一氏 第2回 7月25日(金) 参加者3人 拡大読書機器活用講座 講師 ロービジョンケア 森田茂樹氏
アドベンチャーライブラリー	1回	6月15日(日) 参加者12人
障害者のためのサピエ図書館活用講座	1回	12月3日(水) 予定 講師 株式会社ラビット 荒川明宏氏
障害者のための電子書籍活用講座	1回	2月4日(水) 予定 講師 読書工房 成松一郎氏
冬のおはなし会	1回	12月21日(日) 予定 語り手 当館職員他
図書館音訳者養成講座	全2回	2月3日(火)、10日(火) 予定

出版放送関係への情報提供

番組名	内 容
NHK FM放送番組「ひるどき情報ちば」内「おすすめブック」	図書館職員がFM放送番組に出演し、県民の方々に読んで欲しい一般書や児童書、千葉県に関する資料を紹介する。(年11回)

【西部図書館】

今年度上半期は、当館の特色（自然科学・工学）を活かした「サイエンス・カフェ」（第2回は10月実施）を開催した。障害者サービスについては、「障害者のための資料デジタル化講座」（3回）を実施した。

<平成26年度実施事業>

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
障害者のための資料デジタル化講座	全3回	5月28日(水)6月4日(水)11日(水) 参加者延べ61人 講師 全国音訳ボランティアネットワーク 吉岡眞喜子氏、古屋裕子氏 株式会社東芝 研究開発センター 黒田由加氏
サイエンス・カフェ	2回	8月9日(土) 参加者25人 「房総の海の魚たち～東京海底谷の珍しい魚～」 講師 千葉県立中央博物館 宮正樹氏 10月25日(土) 参加者31人 「生物のデザインに学ぶ ～未来をひらくバイオミメティクス～」 講師 千葉県立現代産業科学館 生井敏明氏
もののけ絵解きトーク	1回	9月20日(土) 参加者34人 「もののけ絵解きトーク ～浮世絵の中のもののけ～」 講師 千葉県立中央博物館 内田龍哉氏
図書館音訳者養成講座 (中級)	1回	11月20日(木) 参加者24人 講師 安原素子氏(音訳講師)
困りごと解決支援講座 (ワンポイント図書館 活用講座を併催)	1回	前掲(P3)
生涯現役実現セミナー	1回	前掲(P3)
障害者のための読書支 援機器活用講座	1回	1月21日(水) 予定
健康・医療情報講座 (ワンポイント図書館 活用講座を併催)	1回	前掲(P3)

【東部図書館】

今年度上半期は、「文学講座」や「名作映画鑑賞会」を開催するとともに、図書館利用の一層の拡充を図るため、図書館見学と検索研修を行う「図書館ナビ」を実施した。

<平成26年度実施事業>

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
図書館音訳者養成講座	1回	12月10日(水) 予定 講師 森田聰子氏 (NPO法人DAISY TOKYO理事長)
文学講座	1回	6月14日(土) 参加者78人 「千葉県が誇るべき歌人蕨真一 アララギ創刊者、その人と歌」 講師 日本歌人クラブ会長 秋葉四郎氏
歴史講座	1回	11月22日(土) 参加者83人 「戦国武将 松平家忠と東総」 講師 千葉県立中央博物館 内田龍哉氏
名作映画鑑賞会 奇数月の第3土曜日	全6回	5月17日「若草物語」ジョージ・キューカー監督1933年 7月19日「Tomorrow明日」黒木和雄監督 1988年 9月20日「アンナ・カレニナ」 ジュリアン・デュヴィヴィエ監督 1948年 11月15日「武器よさらば」 フランク・ボーザージ監督 1933年 参加者延べ123人 平均31人/回 1月17日予定 「恋文」田中絹代監督 1953年 3月21日予定 「拳銃無宿」ジェームズ・エドワード・グラント監督 1946年
児童図書コーナー (東総文化会館協力事業)	2回	9月27日(土) ファミリーコンサート 10月19日(日)文化まるごと発見フェスタ in 東総 児童図書等の展示
図書館ナビ	第2土曜日 第4日曜日	5回実施 参加者延べ15人 平均3人/回
地域づくり支援講座	1回	前掲 (P3)
はっらっライフ講座	1回	前掲 (P3)

3 協力・援助業務

市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行った。また、県立3図書館間、県立図書館及び市町村立図書館間等に連絡車・協力車を定期的に巡回させ、相互貸借の資料を搬送した。

さらに、市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等に対して、運営相談・協力レファレンス等を通じた援助を行うとともに、高校・大学及び類縁機関等との連携、読書活動の充実に努めた。

中央図書館では、平成23年9月より、奉仕地域内の高等学校・特別支援学校に対し、宅配便を利用した貸出資料の搬送を実施している。(登録数：9月30日現在 51校)

西部図書館では、特別支援学校への訪問読書支援(おはなし会・運営相談)の希望調査を行い、希望校7校に対し、下半期に訪問できるよう事前打合せを開始した。

東部図書館では、平成23年度より、資料展示や資料紹介を行った資料を、希望する図書館等にそのまま貸し出し、展示してもらって巡回展示を実施している。

【県立図書館3館】

相互協力ニュース(県立図書館ホームページ→図書館員のページ)の発行(6回)

【中央図書館】

ア 行政支援

県民生活の維持向上などに係る施策を企画・立案している県庁各課へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行った。

(貸出冊数：9月30日現在 298冊)

イ 学校への講師派遣

保育等への進路を希望する生徒や図書委員会活動への支援のため、高等学校等へ絵本の読み聞かせについての講師派遣を行った。(延べ4校 派遣先：市原高、市原八幡高、柏井高、四街道高)

ウ 県内の読書活動を推進するため、千葉県読書グループ連絡会に協力して、千葉県読書グループ研修会を開催した。また、読書会用のテキストとして十冊文庫を整備した。

<十冊文庫整備予定数> 15タイトル(現総タイトル数 617)

エ 市町村立図書館相互協力担当者会議 4月25日(金) 42人出席

【西部図書館】

ア 市立図書館等に対する支援

・管内市立図書館相互協力担当者会議の開催

6月12日(木) 23名出席(うち県立5名)

・運営相談の実施(11回)

イ 高等学校等支援

・運営相談の実施(高校6校)

・レファレンス事例の配布 7月

・特別支援学校(西部管内)への訪問による読書支援希望調査(7校希望あり、下半期訪問予定)

ウ 新聞雑誌総合目録データ

千葉県公共図書館協会加盟館及び千葉県文書館、千葉県立保健医療大学、さわやかちば県民プラザの新聞・雑誌所蔵データの更新情報を、県立図書館ホームページで公開する予定である。

【東部図書館】

ア 市町立図書館及び未設置町公民館図書室に対する支援

- ・図書館及び公民館図書室等に対し延べ15回の運営相談を実施した。
- ・東部図書館で資料展示や資料紹介を行った資料を、希望する図書館及び公民館図書室等に一括して貸し出し、同じテーマで資料展示をしてもらう巡回展示を6回実施した。

イ 高等学校等支援

- ・東総地区高等学校図書委員連絡協議会の総会において、高校支援の内容を説明した。また、研修会における講師選定、依頼に関する相談に応じた。

・運営相談の実施

東部図書館奉仕対象地域内の高校20校及び特別支援学校4校、大学2校に対し、延べ26回の運営相談を実施した。

4 広報・啓発業務

県民に広く周知するために、各館展示コーナー等を利用した資料展示を行った。
中央図書館では企画展示「妖怪発見伝～あやかしの世界へようこそ～」を
平成26年12月20日（土）から平成27年2月15日（日）まで開催予定である。

資料展示（展示コーナー等による資料の紹介）

【中央図書館】

受付前 展 示	世界遺産～富士山から遺産めぐりの旅～	2月26日～ 4月17日
	祝！無形文化遺産登録～和食でおもてなしの心を 世界へ～	4月18日～ 8月14日
	松尾芭蕉 ～松尾芭蕉が歩んだ軌跡！～	9月 2日～12月18日
千葉県 資料室	千葉県のたてもの	4月19日～ 7月31日
	千葉県の祭り	8月 5日～10月17日
	千葉県 近代から現代へ	10月21日～12月18日

【西部図書館】

正面玄関	今こそ、理系！	4月19日～ 6月19日
	江戸の粋～今に伝える江戸人の美意識とその生き方・ あり方を学ぶ～Part 2	6月21日～ 8月15日
	房総の海の魚たち～東京海底谷の珍しい魚～	8月16日～10月16日
	浮世絵の中のもののけ	8月21日～ 9月30日
	昭和の風景—写真と資料でたどる昭和20～30年代—	10月18日～12月18日

【東部図書館】

展 示 コーナー	魅惑の舞台演劇 —シェイクスピアと日本の舞台演劇 の歴史—	4月19日～ 7月17日
	小説の舞台を旅してみよう！外国編	7月19日～10月16日
	戦国を生きた武将達	10月18日～ 1月15日
資料紹介	北欧の物語 子どもの読書	4月20日～ 5月16日
	ラテンアメリカ文学～故ガルシア・マルケスへ～	5月17日～ 6月19日
	ワールドカップ ブラジル	6月22日～ 7月18日
	もののけの世界	7月19日～10月17日
	古生物～生き物をしらべよう～	8月19日～ 9月18日
秋の夜長に・・・	9月19日～11月20日	

5 研修業務

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努めた。また、課題解決支援サービスの一環とした、県立図書館主催の図書館職員向けの研修「課題解決支援サービス研修会」も実施した。

【中央図書館】

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
公共図書館新任職員研修会	1回	5月14日（水） 参加者60人 「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサービス、児童サービス及び相互協力業務等」 講師 当館職員
公共図書館中堅職員研修会	1回	10月3日（金） 参加者36人 「図書館職員のためのアサーション」 講師 高野一枝氏（ライブラリーアドバイザー）
児童サービス基礎研修会	全5回	第1回 6月19日（木） 参加者52人 「児童奉仕概論」 講師 小廣早苗氏（佐倉市立志津図書館） 第2回 7月3日（木） 参加者50人 「絵本・物語について」 講師 堀野仁美氏（袖ヶ浦市立長浦おかのうえ図書館） 第3回 7月4日（木） 参加者49人 「おはなし会の運営について」 講師 当館職員 「レファレンスについて」 講師 当館職員 「ノンフィクションの選書について」 講師 伊藤恵子氏（船橋市北図書館） 第4回 10月16日（木） 午前 参加者44人 「絵本の読み聞かせ演習」講師 当館職員 第5回 10月16日（木） 午後 参加者61人 「子どもたちに本を選ぶということ～子どもと本に関わるものとして伝えたいこと～」 講師 国岡晶子氏（教文館ナルニア国）
地域行政資料研修会	1回	7月9日（水） 参加者22人 「地域行政資料の探し方入門」他 講師 当館職員
レファレンス研修会 （レファレンスサービス基礎研修）	1回	6月20日（金） 参加者51人 「レファレンスサービス実践の基礎」他 講師 当館職員
レファレンス研修会 （レファレンスサービス専門研修）	1回	10月9日（木） 参加者24人 「行政支援サービスを始めよう！」 講師 千葉経済大学短期大学部 齊藤誠一氏
図書館長研究協議会	1回	1月28日（水） 予定 「公共図書館の民間委託を考える（仮）」 講師 三村敦美氏（座間市立図書館）

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
図書館音訳者養成講座	全2回	前掲（P4）
課題解決支援 サービス研修会	1回	11月26日（水） 参加者28人 「日露戦後の千葉県政をめぐる人々」 講師 千葉経済大学短期大学部 池田宏樹氏
障害者のための読書支 援機器活用講座	全2回	前掲（P4）
千葉県読書グループ研 修会（協力）	1回	6月4日（水） 参加者40人 「耕治人・人と作品」 講師 村上文昭氏

【西部図書館】

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
公共図書館新任職員 研修会	1回	5月21日（水） 参加者21人 「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサ ービス、児童サービス及び相互協力業務等」 講師 中央図書館職員及び当館職員
障害者サービス 研修会	2回	6月27日（金） 参加者41人 「誰でも読める電子書籍 アクセシビリティと図書 館での提供の可能性について」 講師 専修大学文学部 植村八潮氏 11月28日（金） 参加者37人 「図書館及び学校現場における障害者への合理的配慮 の現状と展望」 講師 東京大学 近藤武夫氏 事業説明「視覚障害者等用データ収集および送信サ ービスについて」 講師 国立国会図書館 牧野めぐみ氏
第1回課題解決支援サ ービス研修会	1回	7月11日（金） 参加者45人 「国立国会図書館デジタルコレクションの活用法」 講師 国立国会図書館 高品盛也氏 「千葉県立図書館における活用状況」 報告者 当館職員
第2回課題解決支援サ ービス研修会	1回	10月10日（金） 参加者25人 「図書館ブランディング入門」 講師 図書館サービス計画研究所 仁上幸治氏
図書館音訳者養成講座 （中級）	1回	前掲（P5）

【東部図書館】

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
公共図書館新任職員研修会	1回	5月23日（金） 参加者8人 公共図書館の新任職員に対し、業務を円滑に推進するため、公共図書館の基本的な役割や業務内容について共通理解を図る。 講師 当館職員
学校図書館運営研修会	1回	8月21日（木） 参加者10人 高等学校、特別支援学校図書館担当職員が、自館利用者や自らが求める図書館運営の一助となるよう、必要な知識・技能を習得する。また、相互の連携を深める。 講師 当館職員
図書館音訳者養成講座	1回	前掲（P6）
課題解決支援サービス研修会	1回	10月1日（水） 参加者22人 「資料の保存と補修」 講師 日本図書館協会資料保存委員会 眞野節雄氏
千葉経済大学短期大学部との連携研修会	1回	2月19日（木） 予定 「課題解決とレファレンス（仮）」 講師 千葉経済大学短期大学部 齊藤誠一氏 会場 山武市さんぶの森図書館

6 電算業務

《横断検索参加自治体及び施設一覧》

平成26年3月末現在

自治体 (34市2町1村)	[中央エリア] 千葉市、市原市、習志野市、八千代市、佐倉市、成田市、四街道市、八街市、富里市、茂原市、館山市、鴨川市、南房総市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市、酒々井町、長生村
	[西部エリア] 市川市、船橋市、浦安市、松戸市、柏市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市
	[東部エリア] 銚子市、香取市、匝瑳市、旭市、東金市、山武市、大網白里町、横芝光町
大学(4)	千葉大学附属図書館、千葉科学大学図書館、城西国際大学水田記念図書館、放送大学附属図書館
専門(2)	アジア経済研究所図書館、財団法人成田山仏教図書館
県類縁施設(3)	千葉県文書館、千葉県総合教育センター、千葉県立博物館
その他(4)	国立国会図書館、国立情報学研究所、科学技術振興機構、日本書籍出版協会

参考資料)行動計画 平成26年度実施状況報告(上半期) 数値項目一覧表

(※目標数値は3年間の平均値または累積数)

行動計画	数 値 項 目	基本数値 24年度	25年度	26年度上半期 ()内は前年度	目標数値(※) 27年度	
I 市町村立図書館充実のための支援強化	I-1-1 資料搬送ネットワークの維持・改善					
	① 県立図書館蔵書貸出冊数	冊 90,226	冊 89,984	冊 47,333(46,881)	平均 冊 91,500	
	② 市町村立図書館等読書施設蔵書貸出冊数	冊 94,615	冊 94,493	冊 48,554(47,010)	平均 冊 96,000	
	I-1-2 検索情報ネットワークシステム(横断検索システム)の維持・改善					
	③ 利用者アンケート満足度調査	% 74.3	% 76.3	% 【集計中】	平均 %以上 75	
II 未来を担う子どもの読書活動の推進	I-2-1 図書館研修センターとしての機能強化					
	④ 研修会の参加者数及び満足度(研修の理解度と満足度)	人/満足度% 656 【未調査】	人/満足度% 662 88.0	人/満足度% 385(371) 88.6	平均 人 660	満足度%以上 70
	II-1-1 職員研修会の開催、運営相談の実施					
	研修会の参加者数及び満足度	【再出 ④】				
	⑤ 児童サービス研修会開催回数	回 4	回 5	回 3(5)	平均 回 5	
	II-1-2 家庭における読書活動の推進					
	⑥ 図書館ボランティアの育成者数	人 65	人 74	人 0(0)	平均 人 70	
	II-1-3 ヤング・アダルトサービスの開発					
	⑦ 児童書の貸出冊数<児童資料室(中央)>	冊 37,661	冊 38,382	冊 20,279(21,094)	平均 冊 40,000	
	⑧ 子ども読書支援関係のテーマ別リスト作成件数	件 22	件 25	件 15(13)	累計 件 70	
III 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及	II-2-1 学校向けの貸出用資料の整備/II-2-2 物流ネットワークの整備					
	⑨ 県立学校等への資料貸出冊数	冊 13,555	冊 15,584	冊 8,901(8,731)	平均 冊 15,000	
	II-2-3 小・中学校図書館との連携・支援					
	⑩ 教職員等に対する研修会開催回数及び講師派遣件数	回 件 2 13	回 件 2 8	回 件 1(2) 7(6)	平均 回 件 2 14	
	III-1-1 課題解決支援サービスの実施及び市町村立図書館への普及					
研修会の参加者数及び満足度	【再出 ④】					
III-1-2 レファレンス事例紹介、調べ方案内、リンク集の作成						
⑪ 国立国会図書館のレファレンス協同データベース(レファレンス事例集紹介)への事例提供件数	件 69	件 85	件 28(15)	累計 件 210		
⑫ パスファインダー(調べ方案内)の作成件数	件 18	件 20	件 1(9)	累計 件 40		
III-2-3 障害者サービスの充実・市町村立図書館への普及						
⑬ 録音図書貸出タイトル数及び利用者満足度	タイトル/満足度% 10,280 【未調査】	タイトル/満足度% 10,051 81.9	タイトル/満足度% 6,071(5,823) 下半期実施	平均 タイトル 10,400	満足度%以上 70	

IV 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承	IV-1-3 千葉県関係の情報検索ツールの充実			
	国立国会図書館のレファレンス協同データベース(レファレンス事例集紹介)への事例提供件数	【再出 ⑪】 (参考:千葉県関係18件)		
	パスファインダー(調べ方案内)の作成件数	【再出 ⑫】 (参考:千葉県関係8件)		
	⑭ 千葉県関係索引入力件数	件 6,070	件 8,376	件 2,877(3,863)
				累計 件 20,000
V 社会の変化に対応した図書館サービスの推進	V-2 図書館の広報戦略の強化			
	利用者アンケート満足度調査	【再出 3】		
VI 今後の図書館経営・施設整備の方向性	VI-1 地域分担から機能強化へ			
	利用者アンケート満足度調査	【再出 3】		

基本項目 (数値目標とはせずに単に指標として扱う項目)

区分	項目	24年度	25年度	26年度上半期 ()内は前年度	前年度比
基本項目	15 資料受入冊数	冊 21,902	冊 22,200	冊 8,178(8,883)	冊 ▲705
	(うち千葉県関係資料受入冊数)	2,231	2,997	1,221(978)	243
	16 来館者数	人 467,662	人 475,124	人 250,087(263,229)	人 ▲13,142
	17 レファレンス件数	件 29,714	件 29,258	件 17,992(13,579)	件 4,413
	うち				
	A 千葉県関係レファレンス件数	1,563	1,536	820(807)	13
	B 県内市町村等協力レファレンス件数	680	801	339(417)	▲78
	(市町村)				
	(高等学校)	1,588	1,143	508(559)	▲51
	18 ホームページへのアクセス件数	件 441,505	件 401,112	件 176,609(213,668)	件 ▲37,059

「第三次 千葉県子どもの読書活動推進計画」策定について

国 子どもの読書活動推進の動き

平成 13 年 12 月	「子どもの読書活動の推進に関する法律」施行
平成 14 年 8 月	「子どもの読書活動に関する基本的な計画」策定
平成 20 年 3 月	第二次計画の策定
平成 25 年 5 月	第三次計画が策定

【計画の主な柱】

- ① 1 ヶ月間全く本を読まない児童・生徒の割合いわゆる不読率の改善
- ② 市町村における子どもの読書活動推進計画策定率の向上
- ③ 子供と本をつなぐネットワークの構築

千葉県 子どもの読書活動推進の動き

平成 15 年 3 月	「千葉県子どもの読書活動推進計画」策定
平成 22 年 3 月	「第二次千葉県子どもの読書活動推進計画」策定

子どもの読書活動の推進状況を把握するために、目標年度を平成 26 年度とする目標数値を 6 つ設定

〈第三次計画の策定〉

国の動向を踏まえ、第二次計画期間中における状況や方策案、子どもを取り巻く読書環境の変化等を検証し、本県の子どもの読書活動を一層推進するために、平成 27 年 3 月を目途に、第三次推進計画を策定し、今後おおむね 5 年間にわたる施策の基本方針と具体的な方策を定める。

（策定にあたっての検討体制）

作業部会として庁内に「子どもの読書活動推進計画検討委員会」を設置
生涯学習審議会内に「子どもの読書活動推進部会」を設置
県民からは各種調査、事業での意見聴取及びパブリックコメントの予定

「第三次千葉県子どもの読書活動推進計画」の特色

- 1 3つの基本方針を定め、それぞれに「家庭・地域における取組」「学校等における取組」「公立図書館等における取組」「行政における取組」を明記しました。
- 2 全県民が「第三次千葉県子ども読書活動推進計画」を読むことを想定し、わかりやすい表現に努めました。また、読書の意義の啓発・普及を意識して策定しました。
- 3 読書推進に関わるアンケートの声を載せました。
- 4 県内の関係者の連携に基づく推進実践例を紹介しています。
- 5 例示を載せて、わかりやすくしました。
- 6 冊子の表紙の絵や挿絵に、県内の子どもたちから募集した絵を活用します。
- 7 特色ある内容
 - ◇「ブックスタート事業」の全市町村で実施
 - ◇「家読（うちどく）」の推進
 - ◇「人のいる学校図書館」を推進し、「心の居場所」としての機能も目指す
 - ◇公立図書館を「子どもの読書活動推進センター」として充実させる
 - ◇学校図書館と公立図書館との連携の推進
 - ◇障害のある児童生徒の読書活動の支援
 - ◇子どもの読書活動推進の担い手育成
 - ◇「本のある街」の推進
 - ◇市町村の「子ども読書活動推進計画」策定を促すため、県は策定の手引きを配布するなどの支援を行う
 - ◇市町村における子どもの読書活動推進に関わる連携会議の開催を促進

千葉県子どもの読書活動推進計画(第三次)案概要版 ～子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる 読書県「ちば」の推進～

第1章 第三次計画の策定にあたって

1 子どもの読書活動を推進する意義

(1) 読書が育む多くのもの

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、欠くことできないものである。 「子どもの読書活動の推進に関する法律」より

(2) 子どもと本をつなぐのは大人たち

子どもが様々な本に親しみ、成長していくことを目指し、大人は子ども読書活動の意義を理解し、本と子どもをつなぐために共に考え、共に行動し、機会や環境を作り出すことが必要だと考えます。

2 計画策定の趣旨

「子どもの読書活動の推進に関する法律」施行後の国の動向を踏まえ、第二次計画期間中における成果や課題、子どもを取り巻く読書環境の変化等を検証し、本県の子ども読書活動を一層推進するために、第二次計画を改定、「千葉県子どもの読書活動推進計画(第三次)」を策定し、今後の施策の基本的方針と具体的な方策を定めます。

3 計画の性格

(1) 子どもの読書活動を全県的に推進するための手引

(2) 「読書県『ちば』」を目指す設計図

4 計画期間

平成27年度からおおむね5カ年



第2章 第二次計画期間における子ども読書活動の状況

1. 数値目標による検証

(1) 公立図書館等の児童書貸出冊数

平成20年度 842万冊→平成25年度 816万冊

(2) 学校図書館図書標準を達成している学校の割合

平成19年度 43.7%→平成24年度 47.1%

(3) 公立図書館等と連携している学校の割合

平成20年度 60.2%→平成24年度 67%

(4) ボランティアと連携・協力している学校の割合

平成20年度 52.6%→平成24年度 56.9%

(5) ブックスタート実施市町村の割合

平成20年度 60.7%→平成25年度 88.9%

(6) 市町村の「子どもの読書活動推進計画」策定率

平成20年度 42.9%→平成25年度 53.7%

3 第二次計画期間の成果と課題

【成果】

(1) 乳幼児期における読書活動の意義についての理解が普及

・市町村におけるブックスタート事業の普及や、子どもの読書活動啓発リーフレットの活用が図られました。

子どもの読書活動啓発リーフレットを活用している(アンケートより) 小学1年生保護者→97.7% 小学校職員→100%

(2) 学校図書館の充実

・学校図書館の活性化を目指すため、県独自で作成した「学校図書館自己評価表」を使い、小中学校が自校の学校図書館を自己点検した結果、優良学校図書館が増えました。また、平成25年度からは優秀学校図書館の認定を始めました。

(3) 読書好きな子どもの育成 優秀学校図書館 H25 12.0% 優良学校図書館 H22 60.7% ⇒ H25 88.9%

(4) 公立図書館における環境整備

【課題】

(1) 市町村における子どもの読書活動推進計画の策定

(2) 子どもの読書活動推進のための担い手の連携

(3) 民間ボランティア等、推進の担い手の育成

2. 各種調査データから見える子どもの読書活動

(1) 読書が好きな子どもの割合

平成26年度	千葉県	全国
小学6年生	73.4%	73.0%
中学3年生	74.4%	69.4%

(2) 不読率

平成25年度	千葉県	全国
小学6年生	11.5%	11.5%
中学3年生	18.6%	26.7%

(3) 30分以上の読書の習慣

平成25年度	千葉県	全国
小学6年生	39.8%	38.2%
中学3年生	35.0%	31.4%

(4) 市町村の公共図書館等におけるボランティア登録者数

平成25年度	個人登録	団体登録
登録数	865人	1012人

第3章 基本的な方針

1 基本的な理念

子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる 読書県「ちば」の推進

子どもが本に親しみ、好きになり、読書が習慣になるためには、子どもが本の楽しさを感じ、味わうことのできる機会の充実が必要です。本に触れるきっかけがあり、子どもと本の楽しさを共有する人がいて、手をのばすと好きな本がある。そのような仕組みの中に、本好きな子どもは育ちます。「子どもと本をつなぐ」仕組みが大切です。

同時に、「子どもと本をつなぐ」ために、社会全体が連携をして環境づくりを進めていくことが肝要です。読書を通じた子どもの健やかな成長を願う人々が多くいます。また、その人々が持っている知識・情報・思い・技能・長所等は多様で、子どもへの携わり方も様々です。読み聞かせの方法を知ることで保護者のわが子への関わり方が変わった例や、図書館に司書がいることで、学校の授業が充実し、民間ボランティアの活動が活発になった例など、共有・協働、すなわち「子どもの本でつながる」ことで生まれる効果は、計り知れません。

千葉県総合計画及び千葉県教育振興基本計画では、読書県「ちば」の推進を目指しています。本計画は、『子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる 読書県「ちば」の推進』を理念に掲げ、読書が好きな子どもがさらに増えることを願う具体的なプログラムであり、市町村が策定する「子どもの読書活動推進計画」策定の指針となるものです。

本計画では、第二次計画期間における成果と課題を踏まえ、次の3点を基本方針として取組みます。

2 基本方針

- (1) 読書に親しむ機会の充実
- (2) 読書環境の整備
- (3) 普及啓発活動の推進



第4章 子どもの読書活動の効果的な推進に必要な事項

1 推進体制

- (1) 県における子どもの読書活動推進対策
 - ・関係各課相互の綿密な連携
 - ・国、市町村、図書館、学校、民間団体等との連携強化
 - ・「千葉県子どもの読書活動推進部会」を「千葉県生涯学習審議会」内に設置
- (2) 市町村における子どもの読書活動推進対策の支援
 - ・市町村の「子どもの読書活動推進計画」策定の支援

2 子どもの読書活動に係る目標とする数値

目標

〈別紙 参照〉

- ◇子どもの読書活動の現状(読書離れ)を改善する。
- ◇市町村における子どもの読書活動推進体制の整備を支援し、地域格差を是正する。
- ◇公立図書館、学校図書館の機能及び連携・協力の強化を図る。
- ◇乳幼児期における子どもの読書活動を一層推進する。
- ◇子どもと本をつなぐネットワーク活動を構築する。

第5章 具体的な方策

〈別紙 参照〉

1 読書に親しむ機会の充実

- (1) 家庭・地域における取組
- (2) 学校等における取組
- (3) 公立図書館等における取組
- (4) 行政における取組

2 読書環境の整備

- (1) 家庭・地域における取組
- (2) 学校等における取組
- (3) 公立図書館等における取組
- (4) 行政における取組

3 普及啓発活動の推進

- (1) 家庭・地域における取組
- (2) 学校等における取組
- (3) 公立図書館等における取組
- (4) 行政における取組
- (5) 子ども読書の日、子ども読書週間等を中心とした広報・啓発

子どもの読書活動に係る目標とする数値

本計画の達成状況等の点検及び評価を行うために、目標とする数値を定めました。本計画がおおむね5年を計画期間としていることから、平成31年度を目標年度とします。

目 標	評価指標	現状(H25)		目標(H31)
子どもの読書活動の現状(読書離れ)を改善する。	読書の好きな子どもの割合	小6	73.4%	80%
		中3	74.4%	80%
	不読率(1ヶ月に1冊も本を読まない児童・生徒)の割合	小6	11.5%	3%
		中3	18.6%	12%
		高	今後調査し設定する。	
市町村における子どもの読書活動推進体制の整備を支援し、地域格差を是正する。	市町村の子ども読書活動推進計画策定率	市	70.3%	100%
		町村	17.6%	70%
公立図書館、学校図書館の機能及び連携・協力の強化を図る。	学校図書標準を達成している学校の割合※1	47.1%		53.8%
	公立図書館等と連携している学校の割合※2	67.0%		100%
乳幼児期における子どもの読書活動を一層推進する。	ブックスタート実施市町村の割合	88.9%		100%
子どもと本をつなぐネットワーク活動を構築する。	公共図書館におけるボランティアの登録者数	2,076 人		2,500 人
	ボランティアと連携・協力している学校の割合※2	56.9%		70%
	公立図書館等と連携している学校の割合※2【再掲】	67.0%		100%
	図書館もしくは教育委員会が加わり、学校関係者と子どもの読書の推進について協議する機会がある市町村の割合	調査中		

※1 対象:公立小学校・中学校 (平成24年度調査)

※2 対象:公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

第三次 千葉県子ども読書活動推進計画 3つの基本方針とその方策

		1 読書に親しむ機会の充実	2 読書環境の整備	3 普及啓発活動の推進
家庭・地域に おける取組	家庭	ア 本の読み聞かせ イ 「家読(うちどく)」の推進	ア 大人が本に親しむ	
	地域	ア 地域文庫・家庭文庫、ボランティア団体等の取組への参加 イ 子どもが本に触れる機会の提供	ア 「本のある街」の推進 イ 子どもの読書活動に関わる人材の育成	ア 地域活動・地域行事における広報・啓発
学校等における取組	幼稚園・保育園・認定こども園	ア 本の読み聞かせ	ア 本のあるスペースの設置 イ 子どもや保護者への図書の貸出	ア 行事や「おたより」の利用
	小学校・中学校・高等学校 <small>特別支援学校では</small>	ア 「朝の読書」等、読書機会の設定 イ 読書意欲を高める取組 ウ 図書資料を活用した授業の展開 エ 児童生徒の読書ボランティア支援 オ 障害のある児童生徒への読書活動の支援 カ 学校図書館の活動計画の作成	ア 「人のいる学校図書館」の推進 イ 図書館等との連携 ウ 図書資料の充実 エ 学校図書館の自己評価 オ 学校図書館の情報化推進	ア 読書啓発リーフレット等の活用 イ 1000か所ミニ集会・PTA行事等を利用した広報・啓発
図書館における取組		ア 読書活動に関する情報提供 イ 読み聞かせの普及 ウ 子ども向けの事業の実施 エ 子育て支援サービスの推進 オ ヤングアダルト(ティーンズ)サービスの充実 カ 子どもの読書活動推進の担い手支援 キ 学校図書館との連携協力と支援 ク 公立図書館等の取組への支援	ア 公立図書館の整備 イ 「子どもの読書活動推進センター」機能の充実 ウ 学校図書館との連携協力と支援 エ 市町村教育委員会との連携強化 オ 民間団体の支援・ボランティア活動の推進 カ 多様な支援を必要とする子どものための諸条件の整備 キ 運営の状況に関する評価等の実施 ク 公立図書館等の取組への支援	ア 「子どもの読書活動推進センター」としての啓発・普及 イ 学校との連携 ウ 子どものための郷土資料の充実と情報発信 エ 市町村立図書館等の取組への支援
行政における取組	県では	ア 子どもが本に親しむ機会の提供	ア 公立義務諸学校及び県立学校への人的配置 イ 学校図書館のさらなる活性化を図るための研修会等の実施 ウ 「千葉県子どもの読書活動推進計画」の点検・評価 エ 市町村の「子どもの読書活動推進計画」策定支援 オ 子どもの読書活動の実態調査や取組事例の調査 カ 民間団体の活動支援、子どもの読書活動推進の担い手育成	ア 子どもの読書活動啓発リーフレットの作成・配布 イ 「家読(うちどく)」の推奨 ウ 「本のある街」の推進 エ 地域において子育て支援に従事する指導員等への啓発
	市町村では	ア ブックスタート事業の推進 イ 民間団体等と連携した機会の提供 ウ 関連事業における読書機会の提供	ア 「子どもの読書活動推進計画」の策定 イ 民間団体等の活動支援、子どもの読書活動に関わる人材の充実 ウ 学校司書の配置促進 エ 子どもの読書活動推進に関わる連携会議の開催 オ 子どもの読書活動の実態調査や取組事例の調査 カ 「子どもの読書活動推進計画」の点検・評価	ア 検診や親子で参加する行事での広報・啓発 イ 子育て支援事業の場における啓発
				「子ども読書の日」「こども読書週間」等を中心とした広報・啓発

協議

県立図書館が進める県民の課題解決に対する支援方法について

1 趣旨

県立図書館及び市町村立図書館が社会の変化に対応し、今後も住民に必要とされる図書館であるために、「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画の重点事業の一つである「課題解決支援サービスの実施及び市町村立図書館への普及」について、千葉県図書館協議会からの御意見を伺います。

ア 図書館は、利用者（県民、企業、行政など）の課題解決に対しどのような支援をすべきか。

イ 県立図書館ならではの課題解決支援として、どのような支援をすべきか。

ウ 市町村立図書館等が行う課題解決に対し、県立図書館はどのようなバックアップをすべきか。

2 現在行っている主な支援事業

(1) 利用者サービスにおける調査相談業務（課題解決支援）

図書館で所蔵する資料だけではなくインターネット情報源、商用データベース等を活用し、県民や県庁各課、県内図書館等からの調査相談に応じています。（平成25年度調査相談件数29,258件、市町村との協力レファレンス件数2,444件）。

<課題解決支援に関する事例>

江戸から明治頃の企業のロゴマークがわかる本はあるのか 等

〈別紙1〉国立国会図書館レファレンス協同データベース提供事例（平成25年度85件提供）

(2) 「調べ案内」（紙・電子情報）の作成

相続・遺言について調べる 等

〈別紙2〉調べ案内テーマ一覧（累積56件作成）

(3) 課題解決支援関連講座・研修会の開催

〈別紙3〉千葉県立図書館課題解決支援関連実施講座・研修会（平成26年度）

(4) 常設資料展示コーナーの設置

中央図書館 くらしに役立つ法律・判例情報コーナー、子育て支援情報コーナー

西部図書館 医療・健康情報コーナー

東部図書館 シニア支援コーナー「はつらつライフなび」

3 他県の事例

「図書館のビジネス支援サービスをブランディング」（埼玉県立浦和図書館）

「仕事とくらしに役立つ図書館をめざして」（鳥取県立図書館）

「小山市立中央図書館の農業支援サービス」（小山市立中央図書館）

〈別紙4〉文部科学省『図書館実践事例集』課題解決支援【抜粋】

〈参考〉

課題解決支援サービスとは

課題解決支援サービスについては、一般に、行政支援、学校教育支援、子育て支援、ビジネス支援のほか、医療・健康情報や法律情報の提供が挙げられる。行政支援は地方分権が、学校教育支援や子育て支援は、子どもや青少年の育成の問題が背景となっている。ビジネス支援は、経済不況が背景で、菅谷明子によるニューヨーク公共図書館のレポートの影響が大きかった。医療・健康情報の提供は、高齢化社会による関心の高まり、法律情報の提供は、法律上のトラブルや裁判員制度による関心の高まりが契機となっている。

学校教育支援や子育て支援は、従来から広く行われており、中小規模の図書館でも取組が容易である。課題解決支援サービスは、従来、貸出サービスの比重が高すぎたことから、生活や仕事に役立つ情報を提供することによって、サービスの幅を広げ、住民に必要とされる図書館をめざすものである。

これらに取り組む際には、第一に、地域の人々の調査研究に対するニーズの調査、第二に、行政部局や地域団体との連携協力体制の強化が必要になる。

引用：インターネット版『生涯学習研究 e 事典』日本生涯教育学会（執筆者 齊藤誠一） 下線：事務局

〈関係基準等〉

○「図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成 24 年 12 月 19 日 文部科学省告示第 172 号)」【抜粋】

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

3 図書館サービス

(三) 地域の課題に対応したサービス

市町村立図書館は、利用者及び住民の生活や仕事に関する課題や地域の課題の解決に向けた活動を支援するため、利用者及び住民の要望並びに地域の実情を踏まえ、次に掲げる事項その他のサービスの実施に努めるものとする。

ア 就職・転職、起業、職業能力開発、日常の仕事等に関する資料及び情報の整備・提供

イ 子育て、教育、若者の自立支援、健康・医療、福祉、法律・司法手続等に関する資料及び情報の整備・提供

ウ 地方公共団体の政策決定、行政事務の執行・改善及びこれらに関する理解に必要な資料及び情報の整備・提供

二 都道府県立図書館

1 域内の図書館への支援

① 都道府県立図書館は、次に掲げる事項について、当該都道府県内の図書館の求めに応じて、それらの図書館への支援に努めるものとする。

ア 資料の紹介、提供に関すること

イ 情報サービスに関すること

ウ 図書館資料の保存に関すること

エ 郷土資料及び地方行政資料の電子化に関すること

オ 図書館の職員の研修に関すること

カ その他図書館運営に関すること

3 調査研究

都道府県立図書館は、図書館サービスを効果的・効率的に行うための調査研究に努めるものとする。その際、特に、図書館に対する利用者及び住民の要望、図書館運営にかかわる地域の諸条件、利用者及び住民の利用促進に向けた新たなサービス等に関する調査研究に努めるものとする。

6 準用

第二の一に定める市町村立図書館に係る基準は、都道府県立図書館に準用する。

別紙 1

レファレンス事例①

〈国立国会図書館レファレンス協同データベースから抜粋〉

提供館:千葉県立東部図書館	事例登録日:2014年8月1日
質問:江戸から明治頃の企業のロゴマークがわかる本はあるか。	
回答: 以下の資料を提供した。 <ul style="list-style-type: none">・『社名・マーク事典』【資料1】上場企業1152社の社名、ロゴマーク等の企業情報が掲載されている。(1995年時点)他館からの取り寄せ。・『江戸の商標』【資料2】77種の商標を紹介している。・『日本のロゴ』【資料3】日本の有名企業のロゴを五十音順に紹介。p194-203「老舗の商紋」に室町時代創業の店のロゴなども見ることができる。他館からの取り寄せ。・『有名企業 社名とマークの秘密』【資料4】他館からの取り寄せ。	
関連レファレンス事例 <ul style="list-style-type: none">・花王の広告で、ロゴマークの月が下弦の月の向き(右側が欠けている)になっているものをできるだけ古くさかのぼって探したい。 (公益財団法人吉田秀雄記念事業財団アド・ミュージアム東京広告図書館) (http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000029150)・会社のマーク(社章)を集めた資料はないか。(福岡県立図書館) (http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000131567) (インターネットの最終アクセス:2014年6月7日)	
回答プロセス: <ol style="list-style-type: none">1. 自館OPACで全項目「ロゴマーク」で検索。『日本のロゴ&マーク集』vol.1、2(アルファブックス/アルファ企画)など、NDC「727」の棚をブラウジングするが、該当資料なし。自館所蔵ではないが、【資料4】がヒットしたため、他の図書館から取り寄せ。2. レファレンス協同データベースを「ロゴマーク」、「社章」で検索。関連レファレンス事例の参考資料に【資料1】、【資料3】があげられていた。3. リサーチナビ「江戸の商人の名前を調べるには」の中の「商標:ロゴ・マーク」の項に【資料2】が紹介されていた。	
参考資料: <ul style="list-style-type: none">【資料1】『社名・マーク事典』(ビヨンド 1995)【資料2】『江戸の商標』(花咲一男編著 岩崎美術社 1987)(1100546280)【資料3】『日本のロゴ』(成美堂出版編集部編 2007)【資料4】『有名企業社名とマークの秘密』(本間之英著 学研 2008)	

レファレンス事例②

提供館：千葉県立中央図書館	事例登録日：2014年3月24日
質問：お墓について、宗教や宗派が違う場合は典礼が違うと思うが、夫婦や親子などで宗教、宗派が違ったら、お墓はどうするか。関係する判例が何かあるのではないか。	
回答： <p>(1) 宗教、宗派によるお墓の違いについて下記資料に説明がありました。 『宗派別のお墓の建て方とQ&A』【資料1】p32～74に各派の墓について説明あり 『お墓と埋葬の手帳 お墓に関することがすべてわかる』【資料2】p76～81に各派の墓について簡単に説明あり</p> <p>(2) 宗教、宗派が違う場合について 【資料1】に下記のQ&Aの記載がありました。 Q15 夫婦で宗旨、宗派が異なる場合同じ墓に入れますか。(p89) Q17 外国籍の方は日本のお墓に入られますか。(p90) Q84 夫婦で宗派が異なる場合、同じお墓に入れるのでしょうか。(p152) Q89 代々の我が家には宗旨がありました。しかし、私は無宗教なのです。両親のお墓を建てることになりました。どんなお墓を建てたら良いでしょうか。(p158-159) これらの記載によると、寺院墓地や寺院が経営する霊園ではその寺院の宗教宗派でないと受け入れられないが、公営墓地や民間の霊園で「宗旨、宗派不問」と規定してある所ならば問題ない、ということのようです。</p> <p>(3) 関係する判例について 『お墓の法律Q&A 暮らしの相談室』【資料3】に下記の記載がありました。 Q14 宗教が違うことを理由とするお墓の販売拒否 (p28-29) 判例紹介1 寺院墓地と壇信徒加入契約 (p30) (津地判昭和38年6月21日『判例時報』341号19頁) Q25 宗派が違うことを理由とする埋葬拒否 (p56-57) 判例紹介3 改宗を理由とする埋葬拒否 (p35) (津地判昭和38年6月21日『判例時報』341号19頁) *判例紹介1と3は同じ判例です。この判例は、『判例時報』(判例時報社)341号のほか、『判例タイムズ』(判例タイムズ社)146号174頁にも掲載があります。 また、評釈が「別冊ジュリスト No. 109/宗教判例百選(第2版)」【資料4】p34-35、p188-189に掲載されています。</p>	
回答プロセス： <p>千葉県立図書館所蔵図書で「件名：墳墓」のうち、該当内容がありそうなものについて内容を確認した。</p> <p>また、判例について、【資料3】に掲載されている判例の類似判例がないか、当館で契約の法律・判例情報データベース「D1-Law.com」を検索した。</p>	

参考資料：

【資料1】『宗派別のお墓の建て方とQ & A』（澤崎宏之著 近代文芸社 2007）
(2102011028)

【資料2】『お墓と埋葬の手帳 お墓に関することがすべてわかる』（藤井正雄監修 小学館 2002 早わかりガイド）(9105079521)

【資料3】『お墓の法律Q & A 暮らしの相談室』（平田厚執筆者代表 新版 有斐閣 2000 有斐閣選書）(2700000086)

【資料4】「別冊ジュリスト No. 109／宗教判例百選（第2版）」(0501134370)

レファレンス事例③

提供館：千葉県立中央図書館	事例登録日：2014年3月20日
質問：高齢者への傾聴についての資料を探している。シニア・ピア・カウンセリングとも言うようだ。	
回答： 当館所蔵の下記の資料を紹介した。 『ピア・カウンセリング 高齢者ピア・カウンセラー養成の試み』（斎藤利郎著 現代書林 2004） 『新傾聴ボランティアのすすめ 聴くことでできる社会貢献』（ホールファミリーケア協会 編 三省堂 2009） 小澤元美, 山中克夫「シニア傾聴活動の動向および今後の展望」『保健の科学』（47巻9号 杏林書院 2005.9）p. 648-652 長田久雄「すべてを受け入れる 寄り添う傾聴のすすめ」『れいろう』（第55巻10号 モロロジー研究所 2013.3）p. 16-19 鈴木絹英「傾聴は高齢者に対する生き方支援」『介護福祉』（通巻55号 社会福祉振興・試験センター 2004.9）p. 100-104 小渡加依「傾聴ボランティアから学んだこと」『ふれあいケア』（17巻10号 全国社会福祉協議会 2011.10）p. 38-40 また、当館未所蔵だが、下記の資料も関連すると思われる。 『傾聴・心を聴く方法 高齢者支援のための理論と実践』（原千恵子著 学苑社 2009） 『心ふれあう「傾聴」のすすめ 高齢社会でのコミュニケーション・スキル』（長田久雄著 河出書房新社 2008） 『一目でわかる傾聴ボランティア』（工藤ケン文・画 日本放送出版協会 2007）	
回答プロセス： 当館蔵書検索で全項目「傾聴 高齢」あるいは全項目「シニア ピア カウンセリング」「ピア カウンセリング 高齢」で検索し、更に参考文献などを確認した。 また、リサーチナビ、国立国会図書館の雑誌記事索引およびCiniiを「傾聴 高齢」あるいは「シニア ピア カウンセリング」「ピア カウンセリング 高齢」などで検索し、当館所蔵の雑誌記事などを紹介した。 なお『実用介護事典 改訂新版』（大田仁史監修 講談社 2013 介護ライブラリー）によると、 p. 242「傾聴【けいちよう】pay attention, listening attentively 話に耳をよく傾け、関心を持って聞くこと。ケースワークの面接技法の一つである。」（後略） p. 640「ピアカウンセリング【ぴあかうんせりんぐ】peer counseling 障害者が障害者に対して行うカウンセリングのこと。」（中略）「広い意味では自立生活センターに限定せず自助グループなどで行われているカウンセリングをいう。」と記載されている。	

参考資料：

『ピア・カウンセリング 高齢者ピア・カウンセラー養成の試み』（斎藤利郎著 現代書林 2004） | 1101923282

『新傾聴ボランティアのすすめ 聴くことでできる社会貢献』（ホールファミリーケア協会 編 三省堂 2009） | 2102261094

『保健の科学』（47 巻 9 号 杏林書院 2005. 9） | 0501429653

『れいろう』（第 55 巻 10 号 モラロジー研究所 2013. 3） | 0503544636

『介護福祉』（通巻 55 号 社会福祉振興・試験センター 2004. 9） | 2500312346

『ふれあいケア』（17 巻 10 号 全国社会福祉協議会 2011. 10） | 1501694019

レファレンス事例④

提供館：千葉県立中央図書館	事例登録日：2013年7月10日
質問：千葉市に転居をしてきました。千葉市役所のある「千葉みなと」地区に関する資料を探しています。開発の歴史や特徴、イベントなどに関する本はありますか？	
回答： 千葉みなとの開発の歴史や特徴、イベントについて書いた資料を当館の所蔵資料より紹介します。 『角川日本地名大辞典 12 千葉県』【資料1】p553によると「千葉港」は、昭和45年からの町名で、元は千葉市新田町・新宿町1丁目・中央港の各一部、とのこと。 『絵にみる図でよむ千葉市図誌 上巻』【資料2】p177-178に千葉港について写真や地図が掲載されています。またp182-184「千葉港」には、港の歴史が記載されています。 『千葉市史 第3巻 現代編』【資料3】p151-167「工業港の発展」にも、港の歴史が記載されています。 『ぐるっと千葉』【資料4】という雑誌には、毎号「地域別イベント情報エリアスコープ」という記事があり、イベント情報が掲載されています。 『ちば市政だより』【資料5】の中の「くらしの情報プラザ」にもイベント情報が掲載されています。欠号もありますが、1958年から所蔵しているので過去の様子を知る手がかりにもなります。千葉みなと地区は千葉市内でも変化の大きな地域です。 地形図【資料6】や住宅地図【資料7】、空中写真【資料8】での比較もできます。地形図は、国土地理院の5万分の1(一番古いものは明治36年)、2万5千分の1(一番古いものは大正10年)があります。その他、明治42年(2万分の1)の迅速測図があります。住宅地図は1956年から所蔵しています。空中写真1967年、1970年、1980年、1990年、2000年、2010年があります。 その他、千葉県立図書館のホームページ上の「菜の花ライブラリー」からキーワード「千葉みなと」で検索することができます。千葉県関係の新聞雑誌記事からの検索になりますが、新聞雑誌資料については県立図書館で所蔵しています。	
回答プロセス： 転居をしてきて住居の近辺が知りたいとのことなので、基本的な資料を案内。	
参考資料： 【資料1】『角川日本地名大辞典 12 千葉県』(角川書店 1984) 9200306648; 【資料2】『絵でよむ図でよむ千葉市図誌 上巻』(千葉市 1993) (9200276351) 【資料3】『千葉市史 第3巻 現代編』(千葉市 1974) (9200276450) 【資料4】『ぐるっと千葉』(ちばマガジン) 【資料5】『ちば市政だより くらしの情報プラザ』(千葉市) 【資料6】『2万5千分の1地形図』(国土地理院 大正10年測量～) 【資料7】『ゼンリンの住宅地図』(日本住宅地図出版、ゼンリンなど 1956年～) 【資料8】『空中写真 千葉地区』(京葉測量 1967年～)	

レファレンス事例⑤

提供館：千葉県立西部図書館	事例登録日：2013年3月27日
質問：夫または妻に先立たれた場合の残された配偶者の生命予後のデータがほしい。関連した資料でもよい。	
<p>回答：</p> <p>■『人口の動向 日本と世界（人口統計資料集 2005）』（国立社会保障・人口問題研究所）p. 88「表 5-22 性、配偶者関係別 20 歳時及び 40 歳時平均余命：1955～1995」、「図 5-4 性、年齢配偶関係別 40 歳時平均余命：1955～1955 年」</p> <p>→表とグラフが掲載しており、表は男女別に 20 歳時と 40 歳時を 1955 年から 1995 年まで 5 年毎に総数、未婚、有配偶、死別、離別の項目となっていて余命が記載されています。注記に「詳細は、石川晃、「配偶関係別生命表：1995 年」（『人口問題研究』第 55 巻第 1 号、1999 年 3 月）を参照。1）厚生労働省統計情報部『完全生命表』による。」とあります。</p> <p>・『人口問題研究』第 55 巻第 1 号＜千葉県立図書館では所蔵していない＞</p> <p>【インターネット】 上記で紹介したものがインターネットでご覧いただけます。</p> <p>●国立社会保障・人口問題研究所（http://www.ipss.go.jp/）『表 5-22 性、配偶関係別 20 歳時及び 40 歳時平均余命：1955～1995 年』ホームー人口統計資料集（ページ下部アイコン）－2005 年版－V. 死亡・寿命－表 5-22 * 「人口統計資料集」の 2008 年まで同じ統計が掲載されています。</p> <p>『人口問題研究』第 55 巻第 1 号 （http://www.ipss.go.jp/syoushika/bunken/data/pdf/14472103.pdf）</p> <p>次の資料も参考までに紹介いたします。</p> <p>■（雑誌記事）『アエラ』15(52), 2002-12-09 p91-93, 老後「夫に先立たれた妻」なぜか長生き→典拠論文と思われるものが google 検索していたところ見つかった。「地域在住の高齢者における配偶者の有無と生命予後との関連についての研究」藤本弘一郎「愛媛医学」24 巻 2 号 p 125-135</p> <p>■独立行政法人労働政策研究機構（http://www.jil.go.jp/）（雑誌論文）『日本労働研究雑誌』492 号「職業性ストレスと労働者の健康」 （http://db.jil.go.jp/db/ronbun/2001/F2001111063.html） → 「・・・妻に先立たれた男性 4486 人を 9 年間追跡し、死別後 6 カ月以内の死亡率が 40%増加すること、同年代の妻のいる男性に比べて循環器疾患による死亡が約 1.6 倍であるとする報告(注 20)もある。・・・」とあります。</p> <p>■（雑誌論文）安田誠史著、藤村隆著、三野善央著、久繁哲徳著、大原啓志著「配偶者と死別した高齢者の生命予後」 『日本衛生学雑誌 45 巻 1 号』（1990. 4）p244 （インターネットの最終アクセス：2013 年 3 月 15 日）</p>	
<p>回答プロセス：</p> <p>余命のデータは人口統計にあるとわかっていたので、人口統計を確認した。先立たれたと</p>	

いう状況の論文が出されていないか CiNii を検索した。

「地域在住の高齢者における配偶者の有無と生命予後との関連についての研究」は google で「配偶者 予後 藤本」のキーワードを検索したところ、J-GLOBAL の検索結果が見つかった。更に J-GLOBAL を検索をした。

参考資料：

『人口の動向 日本と世界（人口統計資料集 2005）』（国立社会保障・人口問題研究所編集 厚生統計協会 2005）（＜県立西部 358/1/05 一般書庫 参考＞）

『愛媛医学』24 巻 2 号 p125-135（＜千葉県立図書館所蔵なし＞）

『アエラ』15(52), 2002-12-09（＜県立西部所蔵＞）

『日本労働研究雑誌』492 号（＜県立中央所蔵＞）

『日本衛生学雑誌 45 巻 1 号』（1990. 4）（＜千葉県立図書館所蔵なし＞）

レファレンス事例⑥

提供館：千葉県立中央図書館	事例登録日：2011年3月31日
<p>質問：小学校・中学校・高校で使用する読書ノートの開発をしている。読書ノートに関して参考になる資料を探している。</p> <p>読書ノートとは、本の感想を書いたり、読みたい本のリストを書いたりする読書手帳のようなもので、イメージとしては大村はまの「読書生活記録」のようなものを想定している。生徒にとって読書意欲を促進し、読書生活を深めることができるようなものが理想である。下記のような資料はないか。</p> <p>(1) 読書ノートのようなものの先行実践</p> <p>(2) 読書生活を育てる日常的な指導の指針となる本大人向けに説明したのもでも、大人が使うような読書ノートでもかまわない。</p>	
<p>回答：</p> <p>1 図書</p> <p>(1) 読書記録の意義や取り組み事例など</p> <p>『読書記録の指導 改訂版 (シリーズ・活動する学校図書館 7)』 (水野寿美子著 全国学校図書館協議会 1999) (中央児童研究<3758/47>)・読書記録の意義や指導法、実践例など、読書記録と指導の全般にわたって説明されている。</p> <p>『学校図書館ABC 運営から指導まで』(学校図書館研修資料編集委員会編 改訂3版 全国学校図書館協議会 2004) (中央児童研究<017/77>) p.120~121</p> <p>読書記録の方法この2点のほかに、下記の資料があった。</p> <p>『子どもを本好きにする読書指導のネタ&コツ』(上條晴夫著 学事出版 2009) (中央児童研究<0192/132>) 2章 すぐに使える読書指導の小道具 p48-53 読書カード Ap64-65 読書ノート p66-67 読書日記 フィンランド流「読書日記」の記載あり。</p> <p>『うまいった読書好きにする手立て』(坂元弘平著 T O S S 鹿児島著 明治図書出版 2006) (中央児童研究<0192/72>) p31-33 記録をつける</p> <p>『読書力をつける 読書活動のアイデアと実践例 16 (下)』(井上一郎編著 明治図書出版 2002) (中央児童研究<0192/31/2>) p115-159 読書記録活用術 読書記録に関する記述、フォーマットあり。</p> <p>『教職研修総合特集 No. 158 子どもの読書活動をどう進めるか』(長倉美恵子編集 教育開発研究所 2003) (中央児童研究<37413/2>) p206- 中学校における読書活動の展開 読書ノートの記録例あり。</p> <p>『読書生活者を育てる 中学校の読書指導』安居總子編著 東京都中学校青年国語研究会編著 東洋館出版社 2005) (中央児童研究<37583/3>) p188-191 読書一万ページの記録例、教師自身の読書記録の例あり。</p> <p>『読書のあとで 生活をゆたかにする読書記録のつけかた』 (堀内輝三著 さ・え・ら 書房 1953) (中央一般書庫<0191/H89>) 刊行年が古いものの、子ども向けにわかりやすく書かれている。</p>	

『読書レポートの誕生』(竹長吉正著 東洋館出版社 1999) (中央児童研究<37586/7>)

(2) フォーマットのサンプルが載っている図書

『学級担任のための読書指導早わかり』(東川久美子著 小学館 2007) (中央児童研究<0192/108>) p55-57 小学校低学年用、中学年用、高学年用読書記録カード

『思考力・判断力・表現力が育つ学校図書館活用の新しい授業 小学校』(植松雅美編著 学事出版 2010) (中央児童研究<0172/28>) p28 小学校高学年用

『図書館主任の仕事がわかる本 子どもが集う図書館づくり』(金子卓著 学事出版 1999) (中央児童研究<0172/26>) p23 小学校中学年の例

『子どもと一緒に進める学校図書館の活動と展示・掲示 12カ月』(渡辺暢恵著 黎明書房 2003) (中央児童研究<017/58>) p64 小学校中学年から

『学ぶ力をそだてる<新>図書館シリーズ6 読書を楽しもう』(水野寿美子著 ポプラ社 2001) (中央児童開架<J017/ナ/6>) p38 読書記録を残そう 子ども向けに書かれたもの。小学校中学年から。

『読書感想文の本』(大橋富貴子著 文溪堂 1993) (中央児童開架<J816/ナ>) p124 子ども向けに書かれたもの。小学校中学年用、高学年用。

『読書感想文の書き方 高学年向き』(依田逸夫編著 ポプラ社 1995) (中央児童書庫<J816/ト/2>) p86-91 子ども向けに書いたもの。

『小学生100冊読書日記 フィンランド・メソッドで本が好きになる』(フィンランド・メソッド普及会編 経済界 2006) (中央児童研究<01925/4>)

『小学生のための読解力をつける「読書紹介文」ノート 本を読んだらすすめてみよう』(中島克治著 小学館 2010) (中央児童研究<0192/150>)

『子どもが伸びる読書日記 フィンランド・メソッド100さつ+α 未就学児童4~6歳/保育園児・幼稚園児』(杉山義信編 経済界 2010) (中央児童研究<01925/3>)

『親子で書こう! 100さつ読書日記 フィンランド・メソッドで本がすきになる 4歳から小学生』(フィンランド・メソッド普及会編 経済界 2006) (中央児童研究<01925/6>)

2 雑誌

特集「読書記録を考える」(『学校図書館』 通号 285号 1974.7) p9-44

特集「子どもを本好きにするために」

・斎藤昌子著「読書ノートをはさんで子どもと対話」p13-16

・木曾 知恵子著「読書記録シートを使った中学年の読書指導」 p19-21

・浅利正人著「読書カルテによる指導助言を中心にした中学生の読書指導」 p22-26

・中島良三著「高校生の読書意欲を高める読書記録カード」 p35-37

(『学校図書館』 通号 353号 1980.3)

白根孝子著「中学校の実践から—読書記録カードを使って発表交流 —全校一斉の集団読書」(『学校図書館』 通号 437号 1987.3) p38-41

3 その他

当館では所蔵していないが、下記の資料が刊行されている。

『読書は1冊のノートにまとめなさい 100円ノートで確実に頭に落とすインストール・リーディング』（奥野宣之著 ナナ・コーポレート・コミュニケーション 2008）

参考までに、「読書ノート」として次のものが市販されている。

・「読書ノート」（星雲社 2010）（<http://www.amazon.co.jp/gp/product/4795279780/>）

・「読書手帳」（小谷手帳著 パレード 2008）

（<http://www.amazon.co.jp/gp/product/4434119699/>）

・「私の読書日記」（総合法令出版 2005）

（<http://www.amazon.co.jp/gp/product/4893469290/>）

・「大人の読書ノート My Book of Books」（ディスカヴァー・トゥエンティワン 2007）

（<http://www.amazon.co.jp/gp/product/4887595921/>）

・「My 読書ノート—2006—2007」（小学館文庫 2006）（出版社サイトにて品切）

（<http://www.amazon.co.jp/gp/product/409418709X/>）

ブログやホームページなどで読書ノートや、読書指導の取り組みなどを公開している例。

・ベネッセ 生徒に抵抗感を与えない読書指導

（http://benesse.jp/berd/center/open/syo/view21/2005/sp_2005/02point_12.html）

・島根県学校図書館協議会 読書ノートコンクール

（<http://www.iinan-net.jp/~tosyokan/1=konku-ru.html>）

読書ノートコンクールについては、山口県学校図書館協議会でも行われている様子が各学校のホームページなどで確認できた。下記の記事中でも紹介されている。

河村宏子著「学校全体で子どもと本を結ぶ活動の展開 山口県・秋穂町立秋穂中学校」
p81-83（『学校図書館』通号 637号 2003.11）

・京都市教育委員会 「めざせ100冊！読書マラソン」運動において読書ノートを作成

（<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000062219.html>）

・愛知県豊明市教育委員会 国語力向上プロジェクト～言葉の力を身につけさせていくための取組～

（http://www.city.toyoake.lg.jp/gakyo/kyoiku_iinkai/kokugoryoku.htm）

・開倫塾 書き抜き読書ノートのすすめ

（<http://www.kairin.co.jp/akio/essay/jukunews9510.htm>） 学習塾のサイト。子ども

向けにわかりやすく書かれている。

・福井県立図書館

（http://www.library.pref.fukui.jp/info/sonota/event_H22_dokusyo_note.html）

読書ノート「どくしょのきろく」配布のお知らせ

・札幌市中央図書館

（<http://www.city.sapporo.jp/tosyokan/kids/challenge/index.html>）読書ノート配布

のお知らせ。幼児用と小学校低学年用がある。

・『千葉県SLA20年の歩み 1974・5』（千葉県SLA二十周年記念行事推進委員会編集 千葉県教育研究会学校図書館教育部会 1974）（中央千葉県資料<C3758-G16-3>）
「千葉県SLA二十年間の歩み」の文中、「昭和三十九年度」の項目（p11）に「県SLA研究部が中心となって研究をして作成した読書ノートを発行」と記載があった。発行された読書ノートの内容や、千葉県内での取り組み事例などの情報がないか、問い合わせてみる事が考えられる。

千葉県教育研究会 学校図書館教育部会（小中学校）（<http://chiba-sla.main.jp/>）

（インターネットの最終アクセス：2010年11月17日）

回答プロセス：

GeNiiを「大村はま AND 読書ノート」、「読書記録」で検索。NDL-OPAC（雑誌記事索引、図書検索）を「読書記録」、「読書ノート」で検索。

※雑誌記事「読書ノート」では目的外のヒット数が多すぎたため、新しい情報がないか、Amazonのサイトを検索。

「フィンランド・メソッド」のキーワードを見つけたので、参考に下記の図書を確認したが、読書記録については参考になる情報は見あたらなかった。

・『図解フィンランド・メソッド入門』（北川達夫著 フィンランド・メソッド普及会著 経済界 2005）

当館の児童資料研究書コーナーで直接書架にあたり、学校図書館、読書指導、読書記録などの資料を確認した。

（参考）記録の指導に関連して、調べものための記録カードなどの例

『小学校における学び方の指導 探究型学習をすすめるために』（徳田悦子著 全国学校図書館協議会 2009）（中央児童研究<0172/27>）p36、96-97

『このまま使える学習ガイド』（藤田利江著 本山浩子イラスト 図書館流通センター 2008）（中央児童研究<0172/24>）p26-29 情報リスト、情報カード

『知的ビジュアルファイルのすすめ 生活を彩るオリジナル情報らくがき帳』（富士通生活情報化センター著 日本文芸社 1997）[千葉県立西部図書館所蔵]（書庫CL<0027/F67>）p70-85 読書フレーズノート、ワープロ読書ノート

参考資料：

『読書記録の指導 改訂版（シリーズ・活動する学校図書館7）』（水野寿美子著 全国学校図書館協議会 1999）中央児童研究<3758/47>（0106224101）

『読書生活者を育てる 中学校の読書指導』安居總子編著 東京都中学校青年国語研究会編著 東洋館出版社 2005）中央児童研究<37583/3>（0105877023）

『小学生のための読解力をつける「読書紹介文」ノート 本を読んだらすすめてみよう』（中島克治著 小学館 2010）中央児童研究<0192/150>（0106224489）

(別紙2)

千葉県立図書館作成「調べ方案内(パスファインダー)」一覧

2014/11/21現在

分野	No.	タイトル	作成館	備考
千葉県関係	1	千葉県の 新聞記事	中央	
	2	千葉県の 人物 (付 別添リスト)	中央	
	3	千葉県の 地名	中央	
	4	千葉県の 市町村 (付 市町村史一覧)	中央	
	5	千葉県の 統計	中央	
	6	千葉県の 自然災害	中央	
	7	千葉県の 自然環境と生物	中央	
	8	千葉県の 農業	中央	
	9	千葉県の 夏の高校野球	中央	
	10	千葉県の「戦争遺跡」	中央	
総合・新聞雑誌	1	図書を探す	中央	
	2	新聞記事	中央	
	3	雑誌を探す	中央	
	4	雑誌記事・論文を探す	中央	
	5	インターネットトラブル	西部	
人文科学	1	戦国武将	東部	
	2	人物情報	東部	
	3	自分史	東部	
	4	ブラジル	東部	
	5	シンガポール	東部	
	6	富士山を調べる	中央	
	7	モチーフから浮世絵を探す ～もののけを例に～	西部	
	8	読本(よみほん)の派生作品を調べる —「南総里見八犬伝」を例に—	中央	
	9	漢詩を調べる	中央	
	10	日本文学について調べる (近現代の小説作品を中心に)	東部	
	11	外国文学について調べる (英米文学の小説作品を中心に)	東部	

社会科学	1	初心者のための法令の調べ方	中央	
	2	初心者のための判例の調べ方 1	中央	
	3	初心者のための判例の調べ方 2	中央	
	4	相続・遺言について調べる	中央	
	5	法的トラブル（交通事故）	中央	
	6	初心者のためのビジネス情報	中央	
	7	いじめ	中央	
	8	消費者問題	西部	
	9	教科書の調べ方 (付録 学校と教科書の変遷の概略)	中央	
	10	食育	中央	
	11	視覚障害	西部	
	12	聴覚障害	西部	
	13	「学習障害」を調べる	西部	
	14	就労に役立つ情報を調べる(中高年向け)	西部	
自然科学・技術・産業	1	津波	中央	
	2	防災 -地震から身を守る-	中央	
	3	医療情報について調べる	西部	
	4	新型インフルエンザ	西部	
	5	「がん」を調べる	西部	
	6	病院	西部	
	7	食中毒を予防する	西部	
	8	「JIS（日本工業規格）」を調べる	西部	
	9	農業の調べ方 1 野菜園芸	東部	
	10	農業の調べ方 2 花卉園芸	東部	
児童資料	1	絵本の読み聞かせについて調べる ～グループの子どもたちを対象に～	中央	
	2	児童書(絵本・物語)を探す～テーマ・あら すじから～	中央	
高等学校向け 調べ方案内	1	薬物依存	西部	
	2	裁判員制度	西部	
	3	宇宙・天文	西部	
	4	日食	西部	

(別紙3)

千葉県立図書館実施課題解決支援関連講座・研修会（平成26年度）

1 一般向け講座等

事業名	実施	概要
データベース活用講座	中央 東部	調査研究に役立つ新聞記事や官報などのデータベースを効率的に活用できるようガイダンスする。
くらしに役立つ法律・判例情報講座	中央	法テラスの弁護士が、相続や遺言、消費者トラブルなど生活に身近なテーマで法律問題を解説。
中高年の再就職支援セミナー	西部	中高年の再就職活動支援。26年度「生涯現役実現セミナー」（26年度千葉労働局委託事業）
困りごと解決支援講座	西部	生活上で発生する様々な課題解決を学ぶ講座。26年度は相続税の基礎知識と税制改正での変更点等を学ぶ。
健康・医療情報講座	西部	最新医療や健康に関する情報を分かり易く学ぶ講座。
ワンポイント図書館活用講座	西部	課題解決支援講座テーマに役立つ図書館資料や情報を紹介。26年度：困りごと解決支援及び健康・医療情報講座と併催
はつらつライフ支援講座	東部	生活設計や健康医療問題等シニア世代の生活に関する課題解決を支援するための講座。
地域づくり支援講座	東部	地域づくりや地域の課題解決に役立つ講座を開催。26年度「天保水滸伝でまちおこし」

2 図書館等職員向け研修

事業名	実施	概要
地域行政資料研修会	中央	業務経験1年以上の職員対象に、地域に関するレファレンスの基礎的な知識・技術の習得を目的とした研修。
レファレンス研修会 「基礎研修」及び「専門研修」	中央	「基礎研修」は業務経験1～2年程度の職員対象にレファレンスサービス実践の基礎的知識を、「専門研修」は業務経験3年以上の職員対象に行政支援など発展的な内容を研修する。
課題解決支援サービス研修会	全館	中央：「日露戦後の千葉県政をめぐる人々」 西部：（全2回）「国会図書館デジタルコレクション」、「図書館ブランディング入門」 東部：「資料の保存と修理」

図書館のビジネス支援サービスをブランディング ～「仕事に役立つリサーチガイド」を活用して～

埼玉県立浦和図書館（埼玉県さいたま市） <https://www.lib.pref.saitama.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	さいたま市浦和区高砂3-1-22
電話番号	048-829-2821
人口（図書館が所在する市町村）	7,207,748人
職員数（うち有資格者数）	41（31）人
蔵書数	496,480冊
登録者数	36,171人
年間貸出冊数（H24）	52,430冊

目的・趣旨

当館のビジネス支援について、より多くの人に知ってもらうため、ガイドブック「仕事に役立つリサーチガイド」を作成。連携機関等の訪問に活用し、利用者ニーズの把握や広報展開を行っている。

取組概要

- ビジネス支援に見える化
ビジネスパーソン向け、図書館で効率的低コストにできるビジネス調査のコツを案内する冊子「仕事に役立つリサーチガイド」（全ページカラーA5判36p）を発行。図書館とビジネス支援サービスのイメージ見える化した。
- 連携機関、商工団体等へのアプローチ開始
「仕事に役立つリサーチガイド」を、図書館の名刺として活用。来訪先のニーズ把握、会員各社への広報が容易に。
- 商品開発に取り組む専門学科高校生にも
「仕事に役立つリサーチガイド」を、職業教育担当課を通じ、商品開発に取り組む専門学科高校生に紹介・配布。

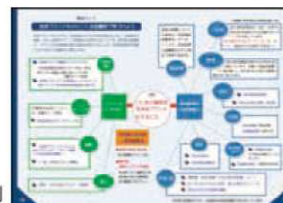
仕事に役立つリサーチガイド



特徴

- 「仕事に役立つリサーチガイド」の内容・ポイント
 - ①司書のサポート
10例のビジネスレファレンス回答例
 - ②ビジネス調査に有効な専門資料群
11分野の「情報ナビ」、データベース紹介
- 時間のないビジネスパーソンが瞬時に選べるサービスメニュー
 - ・制作は若手、司書職以外も含めた横断型プロジェクトチームで。
 - ・専門用語を避け、紹介資料は少数厳選、図や視認性の高いデザインで。
- 「仕事に役立つリサーチガイド」をきっかけに
 - ・創業支援機関、商工関係団体、産業振興担当者へのアピールが容易になる。
 - ・説得力を持ってビジネス支援サービスを提示できる。
 - ・旧来の図書館のイメージが変わり、より深い連携の契機になる。

調査のイメージマップ例



「情報ナビ」例

取組の成果と今後について

「リサーチガイド」による広報を契機に、本館のビジネス支援サービスについて、新聞やテレビ報道の機会が徐々に増えている。訪問先の商工団体からは「これほど図書館が使えるとは思ってもよらなかった」という感想を聞くことが多く、「ガイド」をテキストとした共催セミナー実施や、高校の産業教育でも利用されるなど、連携が広がっている。今後は、増加したマーケティング関連のレファレンスに対応した職員研修を充実し、サービスの拡充に努めたい。

仕事と暮らしに役立つ図書館をめざして ～ビジネス支援・高齢者・障がい者サービスの充実～



鳥取県立図書館（鳥取県鳥取市） <http://www.library.pref.tottori.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	鳥取市尚徳町 101
電話番号	0857-26-8155
人口（図書館が所在する市町村）	58万人（鳥取県人口）
職員数（うち有資格者数）	44人（29人）
蔵書数	1,007,347冊
登録者数	109,294人
年間貸出冊数（H24）	468,827冊

目的・趣旨

鳥取県立図書館では、「県民に役立ち、地域に貢献する図書館」をミッションに、ミッションを実現するための柱の一つとして「仕事と暮らしに役立つ図書館」を目指し、県民と地域の課題解決につながる様々な情報の提供を行っている。

取組概要

1 仕事に役立つ情報の提供

県内産業を支援する情報提供機能を強化するとともに、仕事に役立つサービスを提供している。

- ビジネス支援サービス
- 働く気持ち応援サービス
- 産業支援機関等との連携推進



ビジネスヒント！
調査コーナー

2 暮らしに役立つ情報の提供

県民のライフステージの様々な場面で必要となる資料を収集し、暮らしの不安や悩みを安心して変える知識と情報を提供している。

- 医療・健康情報サービス
- 法律情報・困りごとと解決支援サービス
- 子育て応援サービス
- 高齢者サービス
- 障がい者サービス



いきいきライフ応援
コーナー

特徴

1 仕事に役立つ情報の提供

- ビジネス支援サービスの充実

鳥取県の成長戦略を支える資料の充実とそれをナビゲートする司書のスキルアップを図る研修を実施

- 県内図書館と産業支援機関等との連携の推進

倉吉市立図書館、米子市立図書館とともに、鳥取県中小企業診断士協会、鳥取県産業振興機構等と連携協力協定を締結し、専門機関との連携を強化

- 働く気持ち応援サービスの充実

様々な理由で就労や就職に困難を感じている方たちに対する情報支援を実施



産業支援機関等との連携協定締結



働く気持ち応援コー
ナー

2 暮らしに役立つ情報の提供

- 高齢者サービスの充実

健康づくり、介護、年金など、中高年層に関心の高い各分野の資料を紹介する「いきいきライフ応援コーナー」を開設するとともに、昔話や詩などをみんなで読む「あたまいきいき音読教室」を開催

- 障がい者サービスの充実

大活字本やDAISY図書、LLブックなどを揃えた「は～とふるサービスコーナー」の設置や、録音図書の貸出などを実施



あたまいきいき
音読教室



は～とふる
サービスコーナー

取組の成果と今後について

○鳥取県立図書館の支援を背景に、市町村図書館の資料相談を活用した起業・商品開発の事例がみられる。今後は市町村図書館との一層の連携を図り、県内全域でのビジネス支援サービスの定着を目指す。

○「医療健康情報サービス」など、県民の暮らしに身近な取組は、市町村図書館に広がっている。今後は、超高齢化社会や共生社会を意識した高齢者サービス、障がい者サービスを充実させ普及を図る。

小山市立中央図書館の農業支援サービス

～地域に根ざしたビジネス支援の形～



小山市立中央図書館（栃木県小山市） <http://library.city.oyama.tochigi.jp>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	小山市城東 1-19-40
電話番号	0285-21-0750
人口（図書館が所在する市町村）	16万5千人
職員数（うち有資格者数）	12人（6人）
蔵書数	499,471冊
登録者数	100,349人
年間貸出冊数（H24）	648,223冊

目的・趣旨

- ・地域に根ざした図書館サービスの充実
- ・農業の活性化
- ・地域の振興・発展

取組概要

- **農業支援コーナー**
農業に関する図書を集めたコーナー。定期的にブックリストを発行し、それに合わせた展示も行う。
- **おやまブランド特産品コーナー**
農業に関する様々な情報や、おやまブランド品の紹介をするコーナー。地場産業を応援するため「発見！小山ゆかりの企業展」を実施。
- **おやま地産地消ライブラリー**
小山市の農産物や特産物を紹介するホームページで小山の農業情報を全国に発信。
- **家庭菜園のコツ！相談事業**
家庭菜園や農業に関することを専門家に相談できる相談室。
- **自分サイズのプチ起業セミナー**
ビジネスや就農に役立つ体験談などが聞けるセミナー。
- **農業祭出展**
市の農業祭に出展し、図書館の農業支援サービスをPR。



特徴

図書館の機能や資料を活用し、市の農政課や商業観光課等の関係課や、県の農業振興事務所等の行政機関、農協等の関係機関と連携・タイアップして事業を実施している。



【家庭菜園のコツ！相談事業】
農業振興事務所や農協から派遣された相談員に直接質問できる相談室を開設。実際に農作物を持ち込む人も。



【発見！小山ゆかりの企業展】
栃木県産業振興センターとタイアップした企業展。普段知ることのない地元の企業の取り組みに触れられる。



【農業祭】
市の農政課主催の農業祭には毎年出展。小さなお客さんに食育についての読み聞かせをしつつ、図書館の農業支援サービスをPR。

取組の成果と今後について

セミナー参加者へのアンケートで「起業やビジネスの情報を得るために図書館は役に立ちますか？」との質問に8割以上の方が役に立つと回答しており、図書館のビジネス支援サービスが利用者に認知されていることが確認できた。今後も資料の提供だけでなく、利用者の様々な相談に対応できる体制づくりと職員のスキルアップに努めたい。